

広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和52年1月1日 伊万里市役所総務部企画課発行

市の人口	
12月1日現在	
総人口	61,058人
男	28,945人
女	32,113人
前月比	+11人
世帯数	15,886世帯

No.275

52

1

月

0735

謹賀新年



市民の皆さん、明けましておめでとうございます。
昨年の若楠国体では、市民の総力が結集され、少年野球が優勝するなど、みぞうの成績を記録したばかりか、皆さんの暖かい心が全国から参加された選手団の一人ひとりに強い印象を与え、数多くのお礼状が届いて、これまでの国体の中で最も行き届いた親切国体であったという評価をいただいています。

やはり国体は、皆さんのおかげで伊万里市浮揚のチャンスとなりました。今年は全市的に、自分たちの町づくりは自分たちの話し

合いと協力によってというコミュニケーションづくりを進めたいたいと思っていますが、若楠国体でその大事なお互いの心の触り合いという基盤ができたよう思います。

ご承知のように、総選挙後の政局は激動が予測され、勢い経済の回復が遅れて国民の生活はなかなか安定しそうに

もちろん、一方、積極的に交付税をはじめ国との税源配分など市長会を通じて今年は是非実現に向って努力し、また、何としても人口と所得が増加し、購買力の増えないことは根本的振興はできません。

から、企業誘致に精力を傾けたいたいと思います。こういう時代はアイディアがない

たいせつで、今年は市民皆さんとともに伊万里市浮揚のアイディア作戦を開いたらどうかと思います。

「おはよう」のあいさつで市民の皆さんがあいさつ元気づけられ「こんばんは」のあいさつによって、お互いが少しでも一日の疲れを忘れることができるとすれば、何とすばらしい「あいさつの町」になることだろうかと思われなりません。あいさつこそはまず社会のマナーの第一歩で、そこから明るく住みよい町が築かれます。

今年はひとつ、あのすばらしかった国体を思い起こして、皆さんとともに「あいさつの町」づくりをさらに徹底していくつもりであります。

伊万里 ⇔ 佐世保

国見道路工事急ピッチ

——来春完成——

来春完成を目指して、県道「佐世保～伊万里線」の工事が急ピッチで進められています。

49年11月に着工、総工費は完成までに51億円がかけられます。

工事費用の負担は、佐賀県側が40%・20億4,000万円、長崎県側が60%・30億6,000万円となっています。道路の総延長は改良工事と新設工事を合わせて22.4km、道路の幅は8mです。

工事の進みぐあいは、12月現在で、佐賀県側が76%・長崎県側が84%のできあがりです。

この道路が完成すれば、国見山（標高777m）を快適にくぐり抜ける長さ955mの「国見トンネル」を行き来しての、伊万里湾臨海工業都市と佐世保重工を中心とした佐世保臨海工業地帯との強力な産業道路になることが期待されます。

また、雄大な自然林に恵まれ



▶舗装・改良を急ぐ国見道路◀

た国見山系を目の前にながめることができます。一大観光ルートとしても完成が待たれます。なお二里町中里～佐世保市潜木まで6.8kmの区間は有料道路となります。

「いまりの歴史散歩」を発刊

いまりの歴史散歩（B5版・282ページ）が発刊されました。

市郷土研究会（田中時次郎会長=104人）が、歴史散歩の手引きとして、伊万里湾の成り立ちやカブトガニ・矢じりの文化・伊万里

津の商人たち・伝説・祭り・伊万里湾総合開発などを一冊の本にわかりやすくまとめ、写真や歴史散歩案内図・伊万里の年表



なども収録しています。

ご希望の方は、松島町の市立図書館または市内の書店へお申し込みください。1冊980円。

9日に消防出初め式

消防出初め式は、1月9日午前8時30分から11時30分まで消防庁舎前の広場で行われます。

市民皆さんの生命・財産を守るために、年末警戒など日夜ご苦労いただいております。

団員皆さんを、ぜひ激励してください。

私がまだ提唱してきましたが、相手がこの学校に物売りでもいい。と訓話され、私はもううようなら、を言いましたが、押さようにきた泥棒。それだけでもよい。いいですか、相手がこの学校に物売りでもいい。と訓練話をされ、私もあいつの運動をこれまで底にしていました。でも、それがたいたいせつで、やはり徹底するこの校長先生のようには徹底していませんでした。でも、もし



成人式は平服で参加しよう

1月15日午前10時市民会館

市は、晴れて成人になる方々を祝い励ますため、1月15日午前10時から、市民会館大ホールで成人式を行います。

成人該当者は、昭和31年4月2日から昭和32年4月1日までに生まれた方です。

成人式では、毎年服装の華美が問題になります。平服で参加しましょう。

成人式を迎える僕・私



僕は、1月15日に成人式を迎えるが、20歳になった時の気持は、ただばく然としたものに過ぎませんでした。

やっと一人前になったのだなあと思ったりもしました。

そう思ったのもつかの間、12月5日に行われた衆議院議員総選挙で選挙権が与えられ、国民の一人として晴れて国政に参加することができました。

しかしその反面、あとをたたない選挙違反に、大人の社会の悪い一面も見ることができ、失望したのも事実ですが、僕たち若者には無限に近い力を秘めており、社会の悪い誘惑や買収に對して、これらをはねのける勇気と力を養い、まっしぐらに進んで行きたいと思います。

成人式を迎える数多い成人者の一人として、社会のためにせ

いいっぱい尽していきます。

(東山代町脇野出身)



▶宮本啓子さん◀

成人の日は、私にとって子どもから大人になることでもあります。これまで違い、自分自身の世界を創造する一つのくぎりでもあると思います。

選挙権が与えられることで政

・年金コーナー

成人の日は国民年金加入の日

成人式おめでとうございます
20歳になると、成人として多くの権利が認められあわせていろいろな義務を負うことになります。国民年金に加入するのもその一つです。

若い人にとって、年金の話は遠い老後のことと考えられるかも知れません。しかし、老後の年金はもちろん、長い人生にはいろいろの出来事があります。

マイカー運転で重傷を負った時、一家の働き手が亡くなった時、いとしい子どもが孤児になった時など、国民年金から障害年金、母子年金、遺児年金、寡婦年金といろいろな年金が支給されます。こう考えると、国民年金へ加入するのはあなたの生涯計画のパスポートを手にすることです。

治にも参加し、国民の一人として意見を述べることができるなど、これまでのような生半可な考え方では、社会からとり残されてしまうからです。

今の社会は、経済界の不況で農業をとりまくいろいろな問題点があり、問題を解決するためには、若者と中堅が手を取り合っていかなければどうすることもできません。

私は、青年団や職場の友を大事にし、助け合いの精神をふるに活用して、先輩に負けないように努力していきたいと思います。

(大川町山口出身)

国民年金の加入手続きは、印かんを持って、市民課年金係へお越しください。必要な事柄を記入するだけで済みます。

20歳のあなたは、あなたの将来のためこの加入手続きを早く済ませましょう。

市民会館行事予定

15日 10時～13時

- ・成人式（市教育委員会）

16日 9時～22時

- ・八代亜紀ショーカミヤ商店連合会

18日～20日 9時～22時

- ・世界大物産展（宝島大理石センター）

22日 13時～17時

- ・教育講演会（佐教連伊万里支部）

伊万里少年野球クなどを表彰

学校教育・社会教育の功労で

市教育委員会は
11月30日、市の学
校教育・社会教育
に功労のあった個
人27人と2団体を
表彰しました。

これは、市教育
委員会表彰規則に
基づいて行ったも
のです。

表彰を受けた個
人・団体は次のとおりです。



(敬称略)

◎学校教育に功労のあった人

▶野村寿男（立花町）▶池田虎次郎（二里町）▶藤巻哲応（南波多町）▶吉田新（黒川町）▶古藤勝彦（大川町）▶小杉敏夫（波多津町）▶多田隆明（大川町）▶藤浦隆一（山代町）▶田口豊子（大坪町）▶山口三枝子（大坪町）

▶舞田ミサ子（山代町）▶城島好子（二里町）▶樋口ツユ子（波多津町）▶陣内誠（山代町）▶田中ケイ（立花町）▶山口ワイ（山代町）▶古高イヨ（立花町）
◎社会教育に功労のあった人
▶前川駒市（大川内町）▶中

島音市（瀬戸町）▶野口富士子（大川内町）▶故梶山信雄（立花町）▶長野金一（黒川町）▶古川仙吉（波多津町）▶前田喜一（南波多町）▶古藤貞子（大川町）▶高田豊（松浦町）▶高峯博雄（東山代町）

◎社会教育に功労のあった団体

▶伊万里小学校育友会

学校と家庭を通し、子どもの健全な育成のため学校教育の環境整備充実につとめるとともに学年分会活動・校外補導・交通指導など積極的に活動し、本年度の文部省ならびに全日本PTAの優良PTAとして表彰を受け、教育振興に貢献されました

▶伊万里少年軟式野球クラブ
国体出場をめざし、市内3高校の選手でチームを編成し、国体軟式野球少年の部でみごと全国一の栄誉に輝き、伊万里市の名聲を高めました。

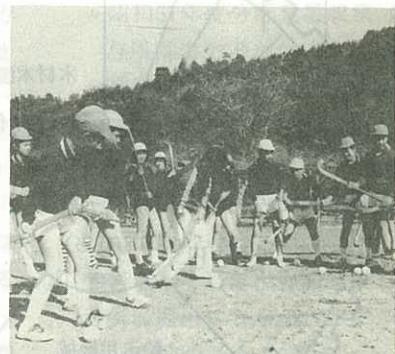
ミニホッケーを体育の授業に

大川内小学校が冬期トレーニング

大川内小学校（中尾茂校長＝277人）は、市内で初めて教科体育にミニホッケーを取り入れ冬期トレーニングをかねた体力づくりに励んでいます。

51年12月14日から、全学年とも授業にくみ入れ、とりあえず52年3月まで行う予定です。

競技の指導をしている金子幹夫教諭の話「学校にはこのミニホッケー部のほか、陸上部や水泳部などありますが、国体開催を契機として盛り上ったホッケーをぜひ残していきたいと思い



▶指導を受ける6年生の皆さん

たちました。とくに女子児童のミニホッケー熱はたいしたものです。」

歴史民俗資料館の常設展

4月30日まで歴史資料など次のものを展示します。

▶展示物

- ・考古資料……夏崎・錢龜・小島古墳の出土品
- ・歴史資料……平安時代の木造如来像・マリヤ観音像・踏み絵・火縄銃など
- ・民俗資料……製塩用具・柄付円鏡・印籠や日用品・伊万里県庁時代の古瓦など
- ・焼き物……古伊万里系約40点
- ・記念物……カブトガニの標本

市の工業出荷額430億円

輸送用機械器具大幅に伸びる

昭和50年12月31日現在で調査した工業統計の結果がまとまりました。工業出荷額は、430億9,790万円で、49年より1億6,746万円(0.7%)の減です。調査結果のあらましをお知らせします。

出荷額・49年より0.7%減

事業所 342社・従業者 8,210人・出荷額 430億9,790万円で49年の出荷額に比べ1億6,746万円の減です。

出荷額の割合を業種別にみると、木材木製品製造業が依然として38.9%・(167億7,965万

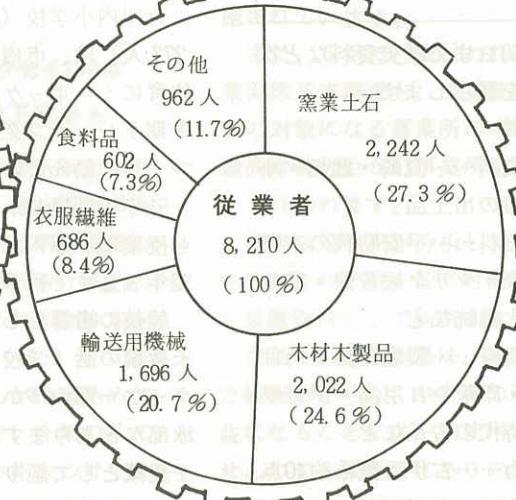
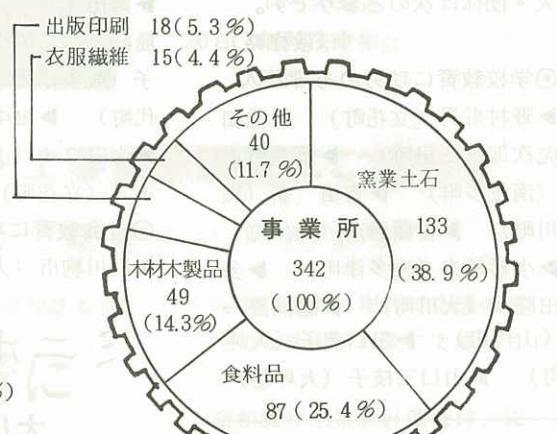
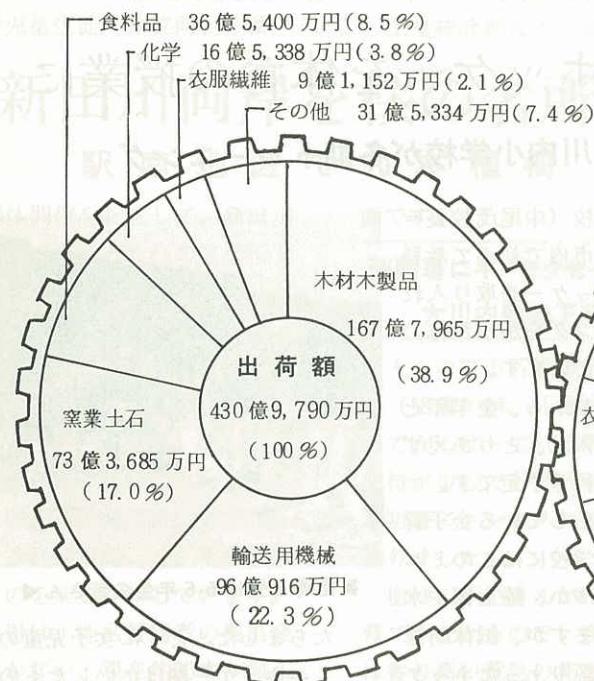
円)を占め、次いで輸送用機械器具製造業22.3%・(96億916万円)、窯業土石製品製造業17%・(73億3,685万円)、食料品製造業8.5%・(36億5,400万円)の順です。

これら4業種について1事業

所当たりの平均出荷額をみると木材木製品製造業が1事業所当たり3億4,244万円で、数字の上では他の業種に比べて高い生産性を示していますが、48年の5億1,023万円に比べると総需要抑制策の波をまともに受けた1億6,779万円と落ち込みを示しているのに比べ、輸送用機械器具製造業は16億153万円、窯業土石製品製造業5,516万円、食料品製造業4,200万円と順調な伸びを示しています。

特に著しい伸びを見せた輸送用機械器具製造業は、造船工業の本格的な操業によるものです

昭和50年工業の状況



待望の定期バスが開通

駒鳴公民館

大川町駒鳴・松浦町藤川内

大川町駒鳴（平山重雄区長・97歳）から宿まで、昭和バスの定期バスが運行されることになり、12月1日、開通祝賀会が駒鳴公民館で行われました。

同地区は、大川町内の4つの保育園を統合した大川保育園が来年4月開園することから、宿までの約2.5kmに定期バスの運行を働きかけ、

12月1日から1日3往復（平日）が実現したものです。

開通式には、地区民をはじめ駒鳴保育園の園児・昭和バス・



▶お祝いのお菓子をもらってバスに乗る園児◀

町別飲酒運転検挙者数

(昭51.11.30現在 伊万里警察署調)

町名	1~10月	11月	計
伊万里	26	0	26
黒川	9	3	12
波多津	5	0	5
南波多	8	1	9
大川	9	1	10
松浦	8	3	11
二里	13	1	14
東山代	10	0	10
山代	13	1	14
(市外)	40	6	46
計	141	16	157

いました。

また、松浦町藤川内（松岡政吉区長・63歳）も、同日から大川町立川行きの昭和バスが一部運行されることになりました

バスの運行時刻は次のとおりです。

〔駒鳴発～宿着〕

7時30分→7時36分

14時00分→14時06分

15時50分→15時56分

〔宿着発～駒鳴着〕

7時20分→7時26分

13時50分～13時56分

15時40分～15時46分

※駒鳴発15時50分と宿発15時40分は、土・日・祝日は運休です

〔伊万里発〕藤川内〔立川着〕

17時30分→18時18分

〔立川発〕藤川内〔伊万里着〕

7時05分→7時53分

12時45分→13時33分

保育所入所ご希望の方に

受付期間 1月17日～31日

保育所に入所を希望される方の受付を、1月17日から1月31日まで行います。入所希望の方は次の書類を添えて受付を済ませてください。

▲該当者 保護者が労働または疾病などのため保育に欠けると認められる家庭の児童。

▲申請用紙 1月10日から保育所または市役所福祉事務所で準備します。

▲提出書類 ①申請書

犬はつないで

飼いましょう

大清掃の成果あらわれる

広報アンケートの結果(3)

▼▼▼

99%が親交を密にしている
近所とのつきあい

▲▲▲

市民が隣り近所との程度の
つきあいをしているか。

隣り近所と親しくつきあって
いると答えた人が全体の38%を
占め、世間なみのつきあいをして
いる50%・あいさつする程度
11%で、99%の人が隣り近所との
親交をたいせつにしています。
ともすれば、共稼ぎや核家族化などから近所との親交が薄れ
かけている今日、あいさつ運動
によってさらに隣り近所とのつ
きあいをたいせつにしていきた
いものです。

現在住んでいる周辺地域の生
活環境を市民がどのように受け
とめているか。

いちおう満足している、満足
ではないがまあまあと答えた人
が88%あり、悪い・非常に悪い
は10%です。

悪い・非常に悪いと答えた人
は、車の騒音で夜眠れない・犬
が放し飼いにされている・家畜
の悪臭がひどいといった市民皆
さんの努力で生活環境をよくす
ることができるものや、道路が
悪い・下水路が悪い・県道の速
度制限・ごみ収集にきてくれな
いといった行政的に措置しなけ
ればならないものなどを訴えて
います。

財政的に苦しい市財政にあ
って、皆さんから寄せられた意見

や要望を早く解決することは困
難ですが、指導などで解消でき
るものにはパトロールを実施する
など、生活環境の整備に努めて
いくことにしています。

▼▼▼

参加していないのは6%
組などの活動と市民大清掃に

▲▲▲

この運動は年ごとに盛り上
がり、宅地内の構・公園や河川な
どの公共施設は美しさを取り戻
しています。

そこで、現在住んでいる地域
の行政区や組などの活動、清掃
運動にどの程度参加しているか
を調査しました。

隣り近所とのふれあいを深める
いい機会であり、積極的に参
加している人は432人(36%)
一応参加している706人(58%)
で、94%の人が行政区や組など
が実施する活動や清掃の趣旨を
理解して参加しています。

しかし、参加していないと答
えた75人(6%)のうち41人は
参加しない理由として、忙しい
区や組から連絡がない。近所の
人も参加しないから・興味がな
いと答えています。

行政区や組の活動、清掃運動
などは、地域住民の協力によっ
てその成果が現われます。仕事
の関係で参加できない方やいろ
いろご意見もあると思いますが
時間の許す限り参加し、地域の
ために参加されるようお願いし
ます。

▼▼▼

市と住民が協力して46%
公園など公共施設の清掃

▲▲▲

道路や公園・広場など公共施
設は、市が清掃すべきだと答
えた人は12%でした。

88%の人が、市と地域住民が
協力して(46%)・関係する地
域住民がすべきだ(42%)と答
えています。

公共施設は市民の財産であり
自分たちでできるものは自分た
ちでしようという意欲の現われ
です。

老人の生きがい対策と、社会
活動への参加として実施してい
る高齢者就労事業と併行して公
共施設の美化につとめていきた
いと思います。

——お礼のことば——

「広報アンケート」の収集や
回答にご協力いただいた皆さま
に厚くお礼申し上げます。結果
は、市政の参考にします。

免許をお持ちの看護婦さん

10日までに市環境衛生課へ

県は、保健婦・助産婦・看護
婦・準看護婦さんで、免許を持
ちながら現在就職していない方
からの連絡を待っています。

連絡によって、免許所有者の
実態と就業する場合の希望条件
など調査するためのものです。

市内に居住している方で、該
当する方は次までご連絡ください。

▲期日 昭和52年1月10日まで

▲連絡先 市環境衛生課

(☎③2111内線281)

・飲酒運転をなくそう県民運動・

'77 交通安全"ゆっくりいこう"

——交通安全指導員と交通安全——

今年こそ、市内から交通事故の死傷者を出さないようにしましょう。

どの家庭も、1年間の安全を願わないところはないと思います。年の始めに当たり、あなたの家族の交通安全のため、次の約束を決めて守りましょう。

[車を運転する時は]

▲家は、いつも5分間早めに出て余裕をもってゆっくり走りましょう。

▲子どもや老人を見かけたら徐行しましょう。

▲運転する時は必ずシートベルトを着用しましょう。

▲飲酒運転は絶対やめましょう=話し合う家族で

事故のない世界=

お正月は酒を飲む機会が多い時です。せっかくの楽しいお正月に飲酒運転で事故でも起こせば、年の始めから悲惨な思いをします。酒を飲んで車を運転するようでは、社会人としては失格者で、他人に迷惑をかける社会の敵です。

=一杯で狂うあなたの

ウデとカン=

市は、交通安全問題に対処していくためには行政機関だけでは不十分なため、現在、市内に35人の交通安全指導員を委嘱し指導員を中心に各種団体の協力を得ながら、地域に密着した交通安全対策を進めています。

●交通安全指導員の任務

- 交通安全思想の普及と安全指導.....
- 児童、生徒の安全指導.....
- 道路、その他の交通環境の情報連絡.....などです。

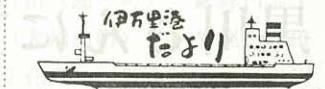
長い間この仕事を続けられ、1日も休むことなく、子どもたちの身の安全を守るために、毎朝交差点に立ち、道路を横断しようとする子どもに代って手を上げ、ドライバーの皆さんに「子どもが今から渡りますよ、停ってください。」とお願いをしています。道路交通法第38条では、横断歩道での歩行者の優先がうたわれており、「歩行者が横断しようとしている時は一時停止しなければならない」と定めています。指導員の街頭指導は、あくまで市民皆さんとの良好な人間関係と信頼で結ばれ、皆さ

研修などに役立てて

タバコ販売組合婦人部が4万8,000円

伊万里タバコ販売協同組合婦人部（福島郷恵部長=227人）

の皆さんのが、12月14日、市役所を訪れ、青空青年学級の研修活動などに役立ててくださいと藤本教育長に4万8,000円を寄託しました。同婦人部は、奉仕活動の一つとして、有田陶器市や国体会場で記念タバコを販売し



51年11月

11月は輸出がなく総額12億6,600万円で前月比77%41億9,800万円の減です。

輸入

南洋材・米材（原木）の輸入のみで、前月比35%・6億8,100万円減少しています。

船舶の入港

日本船4隻、外国船10隻（パナマ6・インドネシア2・リベリア1・フィリピン1）の計14隻です。10月比4隻の減、前年同月比47隻の増です。

（唐津税関支署伊万里出張所）

んの理解と協力がなければ安全を図ることはできません。

子どもの安全と自分自身の安全をも気を配りながらの困難な仕事です。市民皆さんの歩行者に対するやさしい心づかいと指導員の立場を理解し、なさいご協力をお願いします。

その益金を届けていただいたものです。

青空青年学級（遥山勘典教諭=特殊学級卒業生62人）は、この寄金を、47年から毎年行っている歴史学習や体育レクリエーション、登山、視察研修旅行などの活動に役立つことにしています。

黒川さんに文部大臣表彰

学校給食にかける情熱が実る

「給食のおばさん」として生徒から慕われている北部地区学校給食センターの黒川千小枝さん（54歳）は、このほど学校給食30周年を記念して行われた学校給食功労者として文部大臣表彰を受けました。黒川さんは、この道25年のベテラン調理士さん。戦後まもなく2人の子どもを残して夫に先立たれた黒川さんは、昭和26年給食婦として牧島小学校に就職その後中部地区学校給食センターに移り、昭和47年から今の職場で児童生徒の体位向上を願っ

て、調理や食器洗い・食器の消毒に情熱を傾けています。

職場を訪ねると、同僚4人に



栄養士さんを交えて黒川・波多津地区の小中学校・幼稚園の給食985人分の白菜・しいたけを調理中で、なれた包丁さばきと手さわのよさには、学校給食にかける心意気がじみでていました。

広報こよみ

- 4日 官公庁仕事はじめ
- 11日・25日 交通事故相談（生活相談課）
- 12日 市民ロビーで市長と会う日
- 15日 成人式（市民会館）
- 〃 第12回中島杯争奪ロードレース大会
- 20日 無料法律相談日（生活相談課）

工業統計・工業実態調査にご協力を

統計法で秘密が守られます

工業統計調査は、通商産業省

が毎年12月31日現在で全国のすべての事業所を対象に実施しています。

昭和51年工業統計調査は、12月末から1月はじめにかけて実施されています。

また、5年に一度行われる工業実態基本調査も、工業統計調査の対象になる事業所の中から通商産業大臣が41事業所を指定して行われます。

調査結果は国が分析し、中小企業対策の立案・景気対策などの基礎資料として利用されます。

これらの調査結果は、統計法で秘密が守られ、申告者の不利益になることには一切使用しませんので、調査票にありのままを記入してください。

新田川両岸を桜の名所に

駅南地区で90本植樹

国体開催を記念して、新田川周辺を「ぜひとも桜の名所に」と、今、約1kmにわたって八重桜の植樹が行われています。

これは、駅南開発期成会（前田良康会長）を中心に、西円蔵寺、新天町、富士町、渚、中井樋の各地区が共同で思い立ち、将来は、「満開の桜の下で花見ができる最高。」と、その日のくるのを楽しみにしています。

費用は、地区賛同者の拠出金でまかない、現在約90本が植えられ、将来は、320本になす計

画です。

消防署にキンモクセイ230本

大川内町の下平さん

大川内町小石原の下平仙次さん（58歳）が、「毎日緊張の連続でがんばっている消防署員の気持ちが少しでもやわらげば。」と消防署にキンモクセイ230本を贈りました。

樹は、下平さんが丹精込めて育て上げたもので、今年の秋には香り高い黄色の花をつてくれるでしょう。

成人病・妊婦健康診断

午前と午後に分けて同じ日に行います。相談は無料です。

▲期日

1月11日 東山代出張所・波多津公民館

1月18日 南波多出張所・黒川公民館

▲該当者

・成人病相談 一般市民の方
・妊婦健康相談 主として主婦

▲成人病の相談内容

血圧測定、検尿、高血圧知識の普及と予防など。

ぼくは、中学校を卒業するまで、ぼくの生まれた所が未解放部落だということは知りませんでした。

それまで、学校時代に同級生や先生から、いくら差別され、軽べつされても、それは自分がつまらないからだろうと弱気になってあきらめ、その差別に立ち向っていく気もなく、だんだん自分の心がいじけていったように思います。

こうしたことで、毎日がいやになり、学校に行っても勉強する気持にもなれず、学校をサボったこともあります。

ふり返えってみて、私は、小中学校を通じて楽しい学校生活を送ることはできませんでした。今考えてみると、自分が部落のものだから差別され、軽べつされ、いじめられたのだろうかと思いあたることがあります。

「おまえの弁当のおかずは犬の肉じゃろう」・「隣保館は犬のかん詰め工場だろう」といじめられて泣いて帰ったこともあります。

※時 間 10時～11時30分

▲妊婦の相談内容

妊娠、分娩、産褥期の保健衛生、新生児の保育など。

※時 間 13時～14時30分

●母子健康手帳をご持参ください。

子宮ガン集団検診

▲対象者 30歳以上の方（妊婦を除きます。）

▲料 金 300円

▲日時と場所

1月12日 市村公民館（大川内）

1月19日 松浦公民館（松浦）

▲受付時間 13時～13時30分

※なお、松浦・大川地区の方で51年9月に受診された方は除きます。

計量器の追加検査**1月17・18日市中央公民館**

計量器の定期検査を受けていない方の検査です。この検査に含まれますと佐賀まで行って受検することになります。ご注意ください。

▲日時と場所

・1月17～18日 10時～15時

・市中央公民館

いろいろな仕事をやってきましたが、今、やっと役所の現業で働かせてもらっています。

やはり部落でいちばん大事なことは、仕事保障の問題だと思います。みんなが安心して働く職場がほしいのです。そのためには、高校にも大学にも進学して学力を身につけることが必要ですが、学力が低いのでよい仕事につけないのが現実です。自分も中学時代にしっかり勉強し、高校でも卒業していたらと悔やまれてなりません。

私たちは、今、解放同盟の青年部として毎月学習会を開いて自分たちの力で部落を解放するための力を養っています。

石川青年は、東京刑務所で13年目の冷たい冬を迎えるました。石川青年の運命は、私たち部落民300万の運命です。狹山事件の公正な裁判を全国民に訴え、無実の石川青年を救うために団結して、強力な活動を続けていきたいと思います。

（青年部長 F生）

同和問題を正しく理解するために

(1)

「部落青年の訴え」

がやかましく叱られるのかわかりませんでしたが、その時のくやしさは今も忘れるることはできません。

中学校でも勉強に熱が入らず悪いことはするし、追い出されるようにして卒業し、大阪の縁故を頼って仕事を見つけ、小さな工場で働きましたが、そこに3年間勤め、また、生まれ故郷の部落に帰ってきました。帰っても仕事に実が入らず転々とし

感謝の座ぶとん60枚を寄贈

中央婦人学級生がことぶき荘に

中央婦人学級（香月邦子委員長＝140人）は、12月3日、市老人福祉センター「ことぶき荘」に座ぶとん60枚を寄贈し、お年寄りに喜ばれています。

同婦人学級は毎週1回、武藤セツ子先生の指導で洋裁を勉強しているグループです。

年度当初に社会奉仕活動とし

て道路など公共施設の清掃と座ぶとんづくりを計画、毎月1回松島町の五差路から中央公民館までの道路清掃を行うとともに服地を裁断するときに出て暖かな生地を選んで座ぶとんをつくり贈ったものです。

さすがは洋裁の勉強をしているだけあって、よくはぎれを利



▶西村助役に座ぶとんを手渡す学級生◀

資料を集めています

蓮池町の記録を町史にとどめておこうと、作成するための資料を集めています。

今年の3月ごろに町史ができる予定です。町になる前のレンコン畑の写真や図面めずらしい資料などお持ちの方は2月末までにご連絡をお願いします。

▲連絡先 蓮池町樋口亘区長
(☎②3032)

用し、お年寄りに対する感謝と敬う心のこもった美しく暖かな感じのする座ぶとんでした。

今年の相談日

▶消費生活相談 毎週月曜

10時～15時

相談員 田中寿美子

▶交通事故相談 每月第2・4火曜 10時～15時

相談員 佐賀県交通事故相談所職員

▶内職相談 毎週水曜

10時～15時

相談員 幸島正子

▶無料法律相談 每月第3木曜

相談員 弁護士

▶社会保険相談 每週金曜

10時～15時

相談員 唐津社会保険事務所職員

▶市政全般・陳情・苦情・その他

毎日(日・祭日を除く)8時30分～17時(土曜は12時まで)

相談員 市役所職員

※相談場所 市役所生活相談課

(☎③2111 内線 225・226)

(農協有放 2411)

市民のページ

交通遺児救済に10万円を寄託

名村造船労組青婦部が募金

名村造船所労働組合青年婦人部(灰崎正興部長＝640人)の代表4人は、12月11日、交通遺児救済に役立ててくださいと募金した10万6,769円を竹内市長に寄託しました。

同青年婦人部は、労使間で交通安全運動を強力に推進していることから、交通遺児に暖かい手を差しのべようと、12月6日午前6時50分から7時50分まで同造船所正門前に役員10人が出て、出勤途上の社員に呼びかけたものです。

灰崎部長の話 労使間で交通



事故撲滅運動を繰り広げており部員の中から交通遺児を救済しようという声が特に高い。これからも、年末行事として募金運動を続けていきたい。

次の方からご寄付をいた
だきました。厚くお礼申し
上げます。
(敬称略)

緑化基金へ

◆ 篤志寄付
会
。五千七百円 市役所七限

。五万円 古賀建設古賀政
博(東山代町長浜 結婚祝)
。五万円 児島つる子(横
浜市戸塚区深谷町)

◆ 香典返しを寄付
社会福祉事業費へ
。多久島邦夫(東山代町長
浜 亡父祐市)
。樋口孝昭(南波多町大川
原 亡父賢一)
。川原俊幸(東山代町里
亡父太郎)
。前田利雄(立花町西円蔵
寺 亡父謹二)
。黒川義一(木須町多々良
亡父未次)
。山口八千代(南波多町古
里 亡夫沢太)
。浜野義則(東山代町大久
保 亡妻朝美・市心身障害
児父母の会指定)
。原 義秋(大川町井手口
亡母ヨモ)
。鳥山 清(木須町木須西
亡母ヨモ)

亡母ツチヨ)
。池田 晃(脇田町平山
亡父弥八)
。古川哲夫(伊万里町浜町
亡母ナカ)
。吉野マリ子(山代町浦の
田中ミサ子(波多津町筒
井 亡夫早一)
。川島初一(松浦町桃の川
亡父善作)
。小島ハルミ(山代町浦の
崎 亡夫佐代吉)
。嶋本嘉吉(山代町久原一
区 亡妻ハルノ)
。長野龟太郎(黒川町塙屋
亡母キノ)
。小柳宣嘉(山代町波瀬
亡祖母ダイ)
。高森 剛(波多津町辻
亡母初江)
。波多 充(南波多町府招
立石要次郎(山代町久原
亡母イノ)
。江(松浦町下分 ボーナス
の一部を)
。五千円 牧野敏昭(伊万
里警察署経由)
。古田常十(大川内町正力
坊 亡妻カツ)

寺 亡夫光男)
。岩野松之助(黒川町長尾
亡妻クニ)
。中島 覚(大坪町上古賀
亡母マチ)
。田中広美(大川内町市山
亡母キミ)
。池田 重信(南波多町原屋
敷 亡父作助)
。中島弘子(二里町江湖の
辻 亡夫隆行)
。吉永源三郎(二里町作井手
手 亡父源八郎)
。池田 豊(二里町作井手
亡母イサ)
。草場定見(南波多町水留
亡父重太郎・波多川小学校
指定)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)

火災見舞金として)
。参万毫千七百四拾七円
伊万里中学校生徒会(トル
コ地震支援金として)
。壹万六千五百円 田中政
子(立花町東円蔵寺 拾得
物満了につき)

昇(新天町 お客様のお札金を)
。拾万六千七百六拾九円 名
村造船所労働組合青婦部 代
表灰崎正興(善意の寄付を)
。二里公民館建設資金へ

0747

。永野万子(伊万里町仲町
亡夫愛二)
。中島 覚(大坪町上古賀
亡母マチ)
。田中広美(大川内町市山
亡母キミ)
。池田 重信(南波多町原屋
敷 亡父作助)
。中島弘子(二里町江湖の
辻 亡夫隆行)
。吉永源三郎(二里町作井手
手 亡父源八郎)
。池田 豊(二里町作井手
亡父正俊)
。吉永邦宏(二里町作井手
手 亡父正俊)
。中島弘子(二里町江湖の
辻 亡夫隆行)
。吉永源三郎(二里町作井手
手 亡父源八郎)
。池田 豊(二里町作井手
手 亡母イサ)
。西田伊三男(東山代町川
内野 亡父榮)
。多久島邦夫(東山代町長
浜 亡父祐市)
。川原俊幸(東山代町里
亡父太郎)
。多久島邦夫(東山代町長
浜 亡父祐市)
。川原俊幸(東山代町里
亡父太郎)
。高峰博雄(東山
代町長浜 亡弟巧追善供養)
。一千円 高峰博雄(東山
代町長浜 亡弟巧追善供養)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)

。岩野松之助(黒川町長尾
亡妻クニ)
。中島 覚(大坪町上古賀
亡母マチ)
。田中広美(大川内町市山
亡母キミ)
。池田 重信(南波多町原屋
敷 亡父作助)
。中島弘子(二里町江湖の
辻 亡夫隆行)
。吉永源三郎(二里町作井手
手 亡父源八郎)
。池田 豊(二里町作井手
手 亡父正俊)
。吉永邦宏(二里町作井手
手 亡父正俊)
。中島弘子(二里町江湖の
辻 亡夫隆行)
。吉永源三郎(二里町作井手
手 亡父源八郎)
。池田 豊(二里町作井手
手 亡母イサ)
。西田伊三男(東山代町川
内野 亡父榮)
。多久島邦夫(東山代町長
浜 亡父祐市)
。川原俊幸(東山代町里
亡父太郎)
。高峰博雄(東山
代町長浜 亡弟巧追善供養)
。一千円 高峰博雄(東山
代町長浜 亡弟巧追善供養)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)

寺 亡夫光男)
。岩野松之助(黒川町長尾
亡妻クニ)
。中島 覚(大坪町上古賀
亡母マチ)
。田中広美(大川内町市山
亡母キミ)
。池田 重信(南波多町原屋
敷 亡父作助)
。中島弘子(二里町江湖の
辻 亡夫隆行)
。吉永源三郎(二里町作井手
手 亡父源八郎)
。池田 豊(二里町作井手
手 亡父正俊)
。吉永邦宏(二里町作井手
手 亡父正俊)
。中島弘子(二里町江湖の
辻 亡夫隆行)
。吉永源三郎(二里町作井手
手 亡父源八郎)
。池田 豊(二里町作井手
手 亡母イサ)
。西田伊三男(東山代町川
内野 亡父榮)
。多久島邦夫(東山代町長
浜 亡父祐市)
。川原俊幸(東山代町里
亡父太郎)
。高峰博雄(東山
代町長浜 亡弟巧追善供養)
。一千円 高峰博雄(東山
代町長浜 亡弟巧追善供養)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)

火災見舞金として)
。参万毫千七百四拾七円
伊万里中学校生徒会(トル
コ地震支援金として)
。壹万六千五百円 田中政
子(立花町東円蔵寺 拾得
物満了につき)

昇(新天町 お客様のお札金を)
。拾万六千七百六拾九円 名
村造船所労働組合青婦部 代
表灰崎正興(善意の寄付を)
。二里公民館建設資金へ

0747



ありがとうございました



ありがとうございました

代町長浜 戰没者特別弔慰
金の一部を)

代町長浜 戰没者特別弔慰
金の一部を)

。六千円 山口茂樹・しづ
江(松浦町下分 ボーナス
の一部を)

。五千円 牧野敏昭(伊万
里警察署経由)

。古田常十(大川内町正力
坊 亡妻カツ)

。一千円 中島紘一(新天
町六五四)

◆ 篤志寄付
。一千円 中島紘一(新天
町六五四)

昇(新天町 お客様のお札金を)
。拾万六千七百六拾九円 名
村造船所労働組合青婦部 代
表灰崎正興(善意の寄付を)
。二里公民館建設資金へ

0747

こども回ページ

タコあげは電線のない広場で

電柱登り・竹ざおでつつくと危険

青空に勢いよく舞いあがるタコは、見る人、あげる人にともに楽ししいものです。

しかし、あげる場所を考えないと電線にふれ、思わぬ感電事故になることがあります。

九州電力の調査によりますと昭和50年12月1日から51年1月10日までに約6,000個のタコが電線にひっかかり、タコを取る

うとして電柱に登り、けがをしたおともだちがたくさんでています。

しかしながら、母への反発がわきあがりました。私たち親子は、二人だけで暮しています。ですから

かの非を認めながらも、母への反発がわきあがりました。私はどうしても、母を理解することができませんでし

た。母が身勝手にみえました。自分の好きなことをしているような母が、私をして暮しています。ですから

かの非を認めながらも、母へ

の反発がわきあがりました。私たち親子は、二人だけ暮しています。ですから

かの非を認めながらも、母へ

の反発がわきあがりました。私はどうしても、母を理解

できませんでし

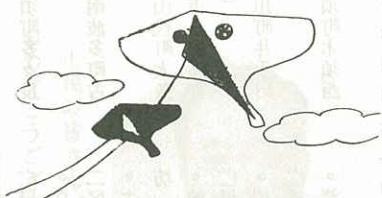
た。母は一人で私を生んだのです。そばにいる人の中

に、私の父である人の姿はありませんでした。母の考えひとつで今

この場に立つことができなかつたかもしれない私。まだ若い母にとって、私を育てることはどれだけ大変だったでしょう。

それでも母は、私の小さかった頃の話をするのが楽しそうです。ある時、思い出話をしてくれる母に「きつかったやろう」と言つたけん、由美が片親とい

タコは電線のない広場であげもし電線にひっかかった時は、電柱に登ったり、竹ざおでつつくことはやめ、九州電力に連絡しましょう。



私の尊敬する人、それは母です。私を生み育ててくれた母です。母が書きました。単純な、たわいのない文章ではあります。『おかあさんが大好き』

と書いていたことだろうと今思います。『おかあさんが大好き』

と書いていたことだろうと今思います。『おかあさんが大好き』

と書いていたことだろうと今

思います。『おかあさんが大好き』

と書いていたことだろうと今

思います。『おかあさんが大好き』

と書いていたことだろうと今

思います。『おかあさんが大好き』

と書いていたことだろうと今

思います。『おかあさんが大好き』

と書いていたことだろうと今



私の尊敬する人

伊万里中学校三年

重松由美

私がおなかの中に入っているころ沖縄へ行きやっと自分の母親、つまり私の祖母に会つたのだと思っていました。これまで私が話したこととは母の苦労のほんの一部、ひとかけらにすぎません。だれにでも、苦しみ、つらさはあるでしょう。しかし母のように次から次へと苦悩の中につき落され、それでも生きてきた人が、何人もいるでしょうか。『波乱にとんだ人生』ということ

この作品は、昨年開かれた第10回子ども話し方大会の中学生の部で最優秀賞となつた作品です。